

ⅠとⅡのいずれかを選び、解答しなさい。

Ⅰ 日本遺産に関する以下の新聞記事を読んで、あとの設問に答えなさい。

この部分は著作権の都合により公表できません

この部分は著作権の都合により公表できません

（出典：読売新聞 2025 年 5 月 27 日朝刊 文化面 「日本遺産 10 年」）

問 1. 従来の文化財行政との違いを示しながら、日本遺産制度の特徴を記事の内容に即して 100 字以内で説明しなさい。

問 2. 日本遺産制度の成果と課題を、記事の内容に即して 300 字以内で説明しなさい。

問 3. 問 1（日本遺産の特徴）問 2（日本遺産制度の成果と課題）を踏まえ、あなたはこれからの日本において日本遺産制度が必要だと思うか。あるいは、不要だと思うか。あなたの考えを理由と共に 400 字以内で述べなさい。具体的に地域の事例を挙げつつ、述べても良い。

Ⅱ 「外国人の受け入れ」に関する以下の新聞記事を読んで、あとの設問に答えなさい。

この部分は著作権の都合により公表できません

この部分は著作権の都合により公表できません

(出典：読売新聞 2025 年 6 月 26 日東京朝刊 解説 [論点スペシャル]外国人材の受け入れ 国松孝次氏、鈴木康友氏、高橋進氏 より抜粋)

問1 国松孝次氏は、外国人の受け入れについて、どのように考えていますか。その主張を350字以内でまとめなさい。

問2 鈴木康友氏の主張にタイトルをつけるとしたら、あなたは、どのようなタイトルをつけますか。30字以内で答えなさい。

問3 あなたは、日本における外国人の受け入れについて、どのような課題があり、またそれに対する解決策があると考えますか。国松氏、鈴木氏の文章も参考に、あなたの考えを、400字以内で述べなさい。

I 出題意図

- ・日本独自の文化財制度に関する理解度、およびそれをまとめる文章力を問う。
- ・日本の文化資源の将来像について、自分の意見を具体的に述べる力を問う。

問 1

遺産の保存を重視する従来の文化財行政に対し、日本遺産は保存ではなく、有形・無形文化財の活用を重視して地域活性化を図ることを目的とし、日本の文化・伝統を伝えるストーリーを文化庁が認定する制度である。(98 字)

問 2

八王子市の日本遺産認定は、高尾山に集中する観光客を各地に周遊させるとともに、教育でも郷土愛の醸成につながるなどの効果があった。小樽市でも、グルメ目的の人々に、明治以降の発展と衰退、再生の物語といった、プラスアルファの魅力を見せる効果を生み出した。日本遺産制度は地域を活性化させる成果をもたらしたといえる。

一方、文化庁はブランド価値を維持するため、21 年度に「総括評価・継続審査」の仕組みを導入したが、新規認定を希望する地域は 22 年度以降ゼロが続いている。また、制度創設から 10 年たった現在でも、世界遺産と混同されるなど、日本遺産の認知度が上がっていないことも大きな課題である。(289 字)

問 3

- ・文化財の保存に重点を置くという制度の特徴、地域活性化の効果が期待できる、知名度が上がっていないといった制度の現状を踏まえた上で論述できているかどうか。
- ・日本遺産制度が必要、あるいは不要のどちらの立場に立つにせよ、その理由（たとえば、日本や地域社会が抱える人口減少、インバウンド増加、オーバーツーリズム、世界遺産との競合といった問題など）を具体的に示しながら、論述できているかどうか。

Ⅱ 出題意図

外国人の受け入れに関する文章をみて、内容をきちんと理解しているか、課題や解決策などについて、自分の考えを論理的に述べられるかをみる。

問1

外国人材の受け入れは、人口減少と地方の過疎化という危機に直面する日本社会にとって非常に重要な問題だ。国が早急に基本理念を示し、地域主導の仕組みづくりを進める必要がある。日本の外国人材受け入れはこれまで産業界が主導し、人手不足の解消に力点が置かれていた。外国人材を安価な労働力と捉えた急場しのぎの対応で、「どのような受け入れが望ましいか」という基本理念に欠けていた。外国人材受け入れに関する基本法を国が策定し、文化を押しつける「同化」ではなく「統合」を掲げて、語学教育や定住支援に力を入れているスイスをモデルとして、外国人材を地域経済の担い手と捉え直し、経済成長に貢献する人材は積極的に受け入れるという考え方をもつべきだ。(310字)

問2

外国人の持つ多様性を地域の活力に変える(19字)

多文化共生の取り組みの実現に向けて(18字)

外国人住民の持つ多様性を都市の活力や成長に生かす(24字) など

問3 以下のようなポイントをおさえて、自分の意見を論理的に展開しているかどうか。

<課題>

- ・外国人への偏見
- ・言葉や文化の違いによるトラブル
- ・安い賃金や過酷な労働環境
- ・不法滞在
- ・自治体任せの対応
- ・外国人受け入れの法の不整備(教育、医療など)
- ・高齢化 など

<解決策>

- ・異文化理解
- ・政府の方針の明確化
- ・自治体による対応さをなくす
- ・外国人受け入れの法整備(教育、医療など)
- ・受け入れに対する法整備や環境づくり
- ・賃金や労働環境の改善
- ・日本語や文化を教える施設づくり など